

第147回 日商簿記検定試験 3級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問 仕訳問題

1. 現金過不足

(1) 現金過不足の発生

現金過不足が生じた場合には、帳簿残高を実地有高に修正するとともに、過不足額を現金過不足に振り替える。

(借) 現金過不足	20,000	(貸) 現金	20,000
-----------	--------	--------	--------

(2) 原因の判明(解答)

原因が判明した場合には、現金過不足から適正な勘定科目に振り替える。なお、原因が不明である場合には、雑益または雑損に振り替える。

(借) 旅費交通費	30,000	(貸) 受取手数料	18,000
(〃) 雑損	8,000	(〃) 現金過不足	20,000

※ 雑損(雑益) : ¥20,000(現金過不足) - {¥30,000(旅費交通費) - ¥18,000(受取手数料)} = 8,000千円(雑損)

2. 固定資産税及び所得税の納付

店舗に係る固定資産税を納付した場合には租税公課により処理し、店主に係る所得税は店主個人が負担すべき費用であるため、資本金の減少又は引出金にて処理する。なお、勘定科目群に引出金がないため、本問の場合資本金の減少として処理する。

(借) 租税公課	368,000	(貸) 現金	590,000
(〃) 資本金	222,000		

3. 商品の売上

商品の注文時に手付金を受けとった場合には、商品の販売時に充当し、問題の指示より残額は売掛金として計上する。なお、商品販売時に支払った発送費については、販売に係る費用となるため、発送費として計上する。

(借) 前受金	40,000	(貸) 売上	428,000
(〃) 売掛金	388,000		
(借) 発送費	5,000	(貸) 現金	5,000

4. 未収利息の再振替仕訳

(1) 前期の決算

当期に受け取る利息のうち、前期に発生している利息は、前期の決算において未収利息として計上する。

(借) 未収利息	36,000	(貸) 受取利息	36,000
----------	--------	----------	--------

(2) 当期首の再振替仕訳(解答)

当期に受け取る利息のうち、前期に発生している利息は上記(1)にて受取利息として既に計上されていることから、当期の損益計算から控除するため、受取利息を減額する。

(借) 受取利息	36,000	(貸) 未収利息	36,000
----------	--------	----------	--------

5. 株式の売却

(1) 株式の購入

株式を購入した場合には、有価証券に計上する。

(借) 有価証券	1,540,000	(貸) 未払金等	1,540,000
----------	-----------	----------	-----------

(2) 株式の売却

株式を売却した場合には、売却価格と売却原価との差額を有価証券売却損(益)として計上する。

(借) 未収入金	1,560,000	(貸) 有価証券	1,540,000
		(〃) 有価証券売却益	20,000

※1 未収入金 : 2,000株(売却株数) × ¥780(売却単価) = ¥1,560,000

※2 有価証券売却益 : ¥1,560,000(未収入金、上記※1) - ¥1,540,000(売却原価) = ¥20,000

第2問 商品有高帳

1. 商品有高帳の作成

払出単価の決定方法は移動平均法を採用しているため、仕入の都度、平均単価の算定を行う。なお、31日の売上値引は利益の修正であるため、商品有高帳には記録されないことに注意すること。

(1) 10月8日

- ① 数量 : 80個(前月繰越) + 200個(8日仕入) = 280個
- ② 金額 : ¥16,800(前月繰越) + ¥43,400(8日仕入) = ¥60,200
- ③ 単価 : ¥60,200(上記②) ÷ 280個(上記①) = @¥215

(2) 10月22日

- ① 数量 : 50個(15日残高) + 250個(22日仕入) = 300個
- ② 金額 : ¥10,750(15日残高) + ¥55,250(22日仕入) = ¥66,000
- ③ 単価 : ¥66,000(上記②) ÷ 300個(上記①) = @¥220

2. 純売上高、売上原価および売上総利益の算定

(1) 純売上高

15日および29日の総売上高から31日の売上値引を控除し、純売上高を算定する。

230個 × @¥320(15日売上) + 240個 × @¥330(29日売上) - 10個 × @¥10(31日売上値引) = ¥152,700

(2) 売上原価

商品有高帳の払出欄を合計し、売上原価を算定する。

¥49,450(15日売上) + ¥52,800(29日売上) + ¥102,250

(3) 売上総利益

純売上高から売上原価を控除し、売上総利益を算定する。

¥152,700(純売上高、上記(1)) - ¥102,250(売上原価、上記(2)) = ¥50,450

第3問 残高試算表

平成29年7月中の取引に係る仕訳は以下のとおりである。なお、ゴシック字については、重複取引を示す。

1. 現金に関する事項

a	(借) 現金	1,146,000	(貸) 売上	1,146,000
b	(借) 租税公課	3,000	(貸) 現金	3,000
c	(借) 売掛金	2,000	(貸) 現金	2,000
d	(借) 通信費	1,000	(貸) 現金	1,000
e	(借) 普通預金	1,180,000	(貸) 現金	1,180,000
f	(借) 仮払金	32,000	(貸) 現金	32,000

2. 普通預金に関する事項

a	(借) 普通預金	1,180,000	(貸) 現金	1,180,000
b	(借) 普通預金	50,000	(貸) 売掛金	50,000
c	(借) 普通預金	1,196,000	(貸) 借入金	1,200,000
(〃)	支払利息	4,000		

d	(借) 買掛金	773,000	(貸) 普通預金	773,000
e	(借) 備品	350,000	(貸) 普通預金	350,000
f	(借) 給料	164,000	(貸) 普通預金	155,000
	(〃) 所得税預り金			9,000
g	(借) 所得税預り金	45,000	(貸) 普通預金	45,000
h	(借) 通信費	10,000	(貸) 普通預金	25,000
	(〃) 水道光熱費	15,000		
i	(借) 当座預金	120,000	(貸) 普通預金	120,000

※ 支払利息： $\text{¥}1,200,000 \times 4\% \times 1\text{か月}/12\text{か月} = \text{¥}4,000$

3. ICカードに関する事項

a	(借) 仮払金	32,000	(貸) 現金	32,000
b	(借) 旅費交通費	18,000	(貸) 仮払金	18,000
c	(借) 消耗品費	10,000	(貸) 仮払金	10,000

4. 売上げに関する事項

a	(借) 現金	1,146,000	(貸) 売上	1,146,000
b	(借) 売掛金	60,000	(貸) 売上	60,000

5. 仕入れに関する事項

a	(借) 仕入	60,000	(貸) 支払手形	60,000
b	(借) 仕入	910,000	(貸) 買掛金	910,000
c	(借) 買掛金	6,000	(貸) 仕入	6,000

6. その他の事項

a	(借) 支払手形	100,000	(貸) 当座預金	100,000
b	(借) 普通預金	1,196,000	(貸) 借入金	1,200,000
	(〃) 支払利息	4,000		
c	(借) 消耗品費	15,000	(貸) 未払金	15,000

第4問 勘定記入

勘定記入に際して、相手勘定科目が複数となる場合には、「諸口」を用いる。なお、平成29年度の手数料の支払いが生じた取引に係る仕訳は以下のとおりである。

1. 未払金の支払

(借) 未払金	70,000	(貸) 普通預金	70,000
(借) 支払手数料	300	(貸) 普通預金	300

2. 土地の購入

土地の購入に際して支払う仲介手数料は、付随費用に該当するため、土地の取得原価に算入する。

(借) 土地	1,215,000	(貸) 当座預金	1,200,000
		(〃) 現金	15,000

3. 調査手数料

(借) 支払手数料	60,000	(貸) 現金	60,000
-----------	--------	--------	--------

4. 調査手数料の前払

(借) 前払手数料	40,000	(貸) 支払手数料	40,000
-----------	--------	-----------	--------

※ $\text{¥}20,000$ (1か月当たり調査手数料) \times 2か月 (平成29年1月～2月) = $\text{¥}40,000$

第5問 精算表

決算整理仕訳は以下のとおりである。

1. 買掛金の支払

(借) 買掛金	38,000	(貸) 普通預金	38,000
---------	--------	----------	--------

2. 旅費交通費の精算

(借) 旅費交通費	17,000	(貸) 仮払金	30,000
(〃) 普通預金	13,000		

※ 普通預金： $\text{¥}30,000$ (残高T/B仮払金) $- \text{¥}17,000$ (旅費交通費) = $\text{¥}13,000$

3. 売掛金の回収に係る修正

(1) 誤った仕訳

(借) 現金	20,000	(貸) 前受金	20,000
--------	--------	---------	--------

(2) 正しい仕訳

(借) 現金	20,000	(貸) 売掛金	20,000
--------	--------	---------	--------

(3) 修正仕訳

(借) 前受金	20,000	(貸) 売掛金	20,000
---------	--------	---------	--------

4. 貸倒引当金の設定

(借) 貸倒引当金繰入	2,000	(貸) 貸倒引当金	2,000
-------------	-------	-----------	-------

※ $\{\text{¥}270,000$ (残高T/B売掛金) $- \text{¥}20,000$ (上記3.(3))

$\times 2\% - \text{¥}3,000$ (残高T/B貸倒引当金) = $\text{¥}2,000$

5. 売上原価の算定

(借) 仕入	226,000	(貸) 繰越商品	226,000
(借) 繰越商品	189,000	(貸) 仕入	189,000

6. 減価償却

(借) 減価償却費	119,000	(貸) 建物減価償却累計額	29,000
		(〃) 備品減価償却累計額	90,000

※ 1 建物減価償却累計額： $\text{¥}870,000$ (残高T/B建物) $\div 30$ 年 (耐用年数) = $\text{¥}29,000$

※ 2 備品減価償却累計額： $\text{¥}360,000$ (残高T/B備品) $\div 4$ 年 (耐用年数) = $\text{¥}90,000$

※ 3 減価償却費： $\text{¥}29,000$ (上記1)) $+ \text{¥}90,000$ (上記2)) = $\text{¥}119,000$

7. 保険料の繰延

(借) 前払保険料	40,000	(貸) 保険料	40,000
-----------	--------	---------	--------

※ $\text{¥}60,000$ (支払額) $\times 8$ か月 (平成29年1月～8月) $\div 12$ か月 = $\text{¥}40,000$

8. 受取家賃の繰延

(借) 受取家賃	15,000	(貸) 前受家賃	15,000
----------	--------	----------	--------

※ $\text{¥}45,000$ (受取額) $\times 1$ か月 (平成29年1月) $\div 3$ か月 = $\text{¥}15,000$

9. 給料の見越

(借) 給料	37,000	(貸) 未払給料	37,000
--------	--------	----------	--------